

視覚について理解する 2017/10/16

ZEISSのフリーフォームテクノロジー、カスタムレンズを作って10年 以前誰もが不可能と思っていた：使う人に合わせた累進レンズが今や万物の尺度に。

2000年5月12日はメガネレンズの歴史上記念すべき日となりました。かける人の個性に合わせた累進レンズ – ZEISSのGradal® Individualが誕生しました。このレンズのカスタム生産テクノロジーは今日に至っても革命的で、より広い視覚とさらにアップした許容性は多くの人により良い視力をもたらしています。過去10年間Carl Zeiss Visionはこの技術を磨き続け、製品の提供を拡大してきました。

今まさにスペシャルなレンズの誕生を祝うことができます。レンズの度数のみならず、使用する人の瞳孔からの距離、目とフレームの位置関係、読書する時の距離を計算に入れて生産されたレンズ。これによってトータルなカスタムメイドの革新的レンズの生産が可能になり、実現したのがより良い視覚

> “テーラーメイド”の視覚”です。

Gradal® IndividualはCarl Zeiss Visionの開発した全く新しい特徴を持った累進レンズです。アイケアの専門家によって測定、処方された個人のデータに基づいて作られた Gradal® Individual革新的レンズは一人一人の個性に合わせて計算されています。データは Carl Zeiss Visionにおいて数値計算処理され、その結果に基づいて、かける人の個性に合わせたレンズが生産されるのです。

なぜこれほどまでに努力を払うのですか？

レンズと目の距離が正確に分かっていればいるほど、始めからすなわち生産前からその状態を計算に入れることができるのです。視覚の幅が広がり、使う人にとって許容性が向上します。このように、レンズは使う人に最高の視力をもたらすように設計されます。例えば、使用者の瞳孔間の距離、いわゆるPDはレンズ生産において重要なパラメータです。これによって遠くを見るときに度数が決定しますが、近くを見る場合も同じです。このことは遠近両用の累進レンズの重要な点ですが、カスタムメイドのレンズが導入されるまで十分な配慮がなされていませんでした。

フリーフォームテクノロジーとは?

フリーフォームテクノロジーは以前不可能と思われていたことを可能にしました: 真に個性的な設計の登場です。ところでフリーフォームテクノロジーとは何でしょうか?

すべての [> 累進レンズ](#) はその下の部分に読書等に必要な度が入っています。上の部分は遠くを見るとき用ですが、これら2つの部分の間(累進コリドー)は遠近の中間地点の物がはっきり見えるようになっています。物理的法則により、この部分の端ではある程度のぼやけが生じますが、これは累進レンズの質とカスタムメイドの度合いに左右されます。個人に合わせて計算したカスタムメイドの度合いが大きいほどこのぼやけは少なくなります。その結果視力は向上し、かけている人にとっての許容性もアップします。

累進表面はフリーフォーム表面と呼ばれています。Carl Zeiss Vision では表面の細かなパーツが特定の部分で変えられるようになっていて、スムーズな累進表面を作り出します。これらの表面パーツは使用者の視力検査の結果に基づいた計算によって作られます。このことは使用者一人一人の必要に応じてレンズを設計することを意味しています。

Carl Zeiss Visionフリーフォームテクノロジーの歩み

1981年フリーフォームテクノロジー導入

2000年 Gradal® Individual生産開始:フリーフォームテクノロジーによるカスタムメイドレンズの生産が開始されました。

2010年1月1日よりCarl Zeiss Visionの累進レンズがすべてフリーフォームテクノロジーによって勢ぞろいしました。

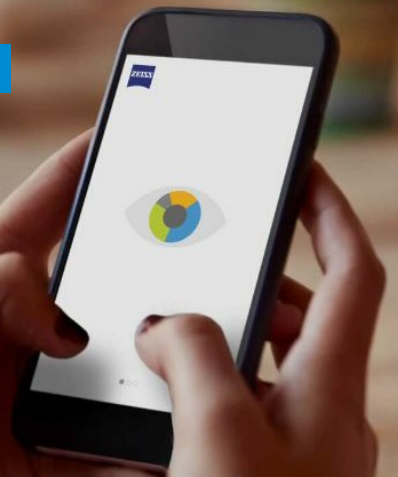
2010年4月からは累進レンズがサングラス、ファッショナブルな外装、スポーツモデルなど豊富な種類からカスタムメイドできます。

さらなる革新も登場する予定です。ご期待ください!

画像:© ExQuisine - Fotolia.com

視覚プロフィールチェック
ご自分の視覚習慣を確かめ、最適なレンズソリューションを見つけましょう。

視覚プロフィールを今すぐチェック!



お近くのZEISS取扱店を探す

住所



関連記事



視力障害を認識する
近視、遠視、乱視。どんな視力障害があり、どのように矯正できるのでしょうか。

視覚について理解する 2017/11/29
タグ：, 累進多焦点レンズ



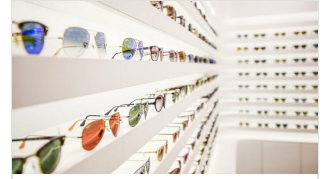
メガネの歴史
「リーディングストーン」という起源からライフスタイルアクセサリーになるまで

視覚について理解する 2017/11/22
タグ：, 累進多焦点レンズ



シニアのためのより良い視力
40歳を過ぎると、普通メガネが必要になってきます。累進多焦点レンズは視力を20/20に回復します。

視覚について理解する 2017/10/31
タグ： 累進多焦点レンズ



メガネは何本くらい必要なものでしょう？
多くの選択肢に迷わないように！

視覚について理解する 2017/10/16
タグ：, 累進多焦点レンズ

関連製品



調光レンズ
あらゆる場面で使えるメガネ。

[詳細はこちらから](#)



サングラスカラー
あなたにとっての適切なカラーとは、どうやって決めるものなのでしょうか？

[詳細はこちらから](#)



サングラスレンズ
ひとつのレンズですべてのアウトドア活動に対応

[詳細はこちらから](#)



もっと見る

- 視覚について理解する
- 健康と予防
- ライフスタイルとファッション
- 運転とモビリティ
- スポーツとレジャー
- 仕事

最適なオプションを選ぶ

- 遠用メガネおよび老眼用メガネ
- 遠近両用メガネ
- サングラス
- 仕事用メガネ
- スポーツメガネ
- 子供用メガネ
- レンズコーティング
- コンタクトレンズ
- レンズクリーニング
- 眼鏡店に行く前に

サービス

- 視覚プロフィールチェック
- オンラインビジョンチェック

眼鏡店向け

- 測定機器とテクノロジー
- ZEISSメガネレンズ
- ZEISSクリーニングソリューション